

平成27年度市民提案型協働事業

子育て支援方策の拡大・深化

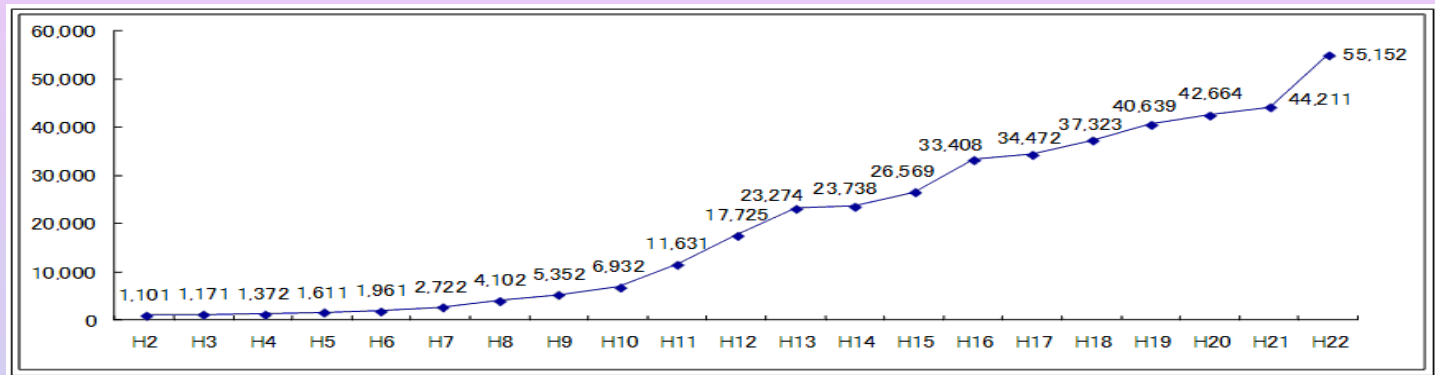
— 家庭訪問型支援（ホームスタート）の展開 —

NPO法人さやま保育サポートの会

2015・05・20

申請の意図

☆申請理由：児童虐待相談件数は増加傾向にあり（H22年度：2,243 H25年度2,571件）、児童虐待を予防するためには子育て困難家庭の支援が必要。



2014(H26)年度

☆家庭訪問型子育て支援（ホームスタート=HS）の導入：
特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパンの支援方法を取り入れ、安全で確実な家庭訪問型子育て支援を展開する。

ビジョン：「全ての親が子どもによりよき人生のスタートを提供できるよう、そのために必要な支援を得ることができる社会」の実現をホームスタート・ジャパンは目指しています。

HSの支援方法の導入

・ HSの家庭訪問事業の立ち上げの過程

オーガナイザー養成

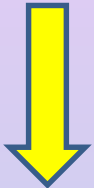
2014年6月13日～15日
諏訪・山根・斉藤 受講



ホームビジター養成

2014年「9月8日～11月17日まで
全8回講座を実施 受講生15名

家庭からの
申し出



運営委員会等
情報の収集

2014年9月24日
第1回運営委員会

オーガナイザー養成後の課題 **試行訪問5件**

オーガナイザーのアセス



ホームビジターの訪問支援

傾聴・
協働

12月～3月
家庭からの申し出によりオーガナイザーとホームビジターが家庭を訪問し支援を開始 現在5件目



1) オーガナイザー養成講座 於:神奈川

2泊3日のハードな研修

* 錆びついた頭で
ついていけるかしら？

* 地元の紹介をするために
ポスターを作り、お土産を
もってでかけました！

* 思いを同じくする人たち
と出会い、熱い思いを共有
して帰ってきました！

山根 静子
長年、主任児童委員を務めて
参りました。子どもの為に
もう一度 頑張ります。

代表 諏訪 きめ
老体に鞭打って
もうひと頑張り…!(^^)!

プロフィール
* さやま子育て支援
ネットワーク代表
* さやま市民大学ババママのお助け隊
養成学科主任講師
* 東日本大震災では、宮城県南三陸町の保
育支援を JCC の副代表として実施
* 日本保育学会評議員

事業目的
* 子育て中の親たちに対し、『孤立感を受けとめ、
お互いに支え合う場』を提供し、次世代育成の
視点から広汎な地域子ども支援の場を設ける
* 働く親を持つ低年齢児などを対象に、家庭的
で温かい保育を提供できる保育サポーターの
養成に努め、人間性豊かに成長できる地域社会
を創造し、地域福祉の増進に寄与する

事業内容
保育サポート事業
♥ よつばのおうち
子育てサポート事業
♥ 子育てプレイス奥宮
保育サポート研究・研修事業
♥ 保育サポート研究所
・ さやま市民大学ババママのお助け隊養成学科の企画・運営
・ 研究会の開催

NPO法人 さやま保育サポートの会



2) 泣いて笑って ビジター養成講座 第1回2014 第2回2015

7-7-7-7の講座
です



手帳
 訪向あるにあたりの期待と不安
 利用者とのエネルギー
 信頼していき
 エンパワメント
 一緒に落ちこんでいい
 自分も利用者も
 いいふうにできない
 自分は大さばり
 手は大丈夫
 受入れてもらえるかも心配
 訪向
 入っていき
 OGの何かあたときに手人と伝えたいのは
 安心
 ボランティアが楽しみ
 参加分け～自分の
 信頼関係
 会話のかわらなくて
 受け止めてもらえるのがいい
 気持ちに焦点をあてすぎないか
 年齢のギャップ
 自分は大さばり
 手は大丈夫
 受入れてもらえるかも心配
 訪向
 入っていき
 OGの何かあたときに手人と伝えたいのは
 安心
 ボランティアが楽しみ
 参加分け～自分の
 信頼関係
 会話のかわらなくて
 受け止めてもらえるのがいい
 気持ちに焦点をあてすぎないか
 年齢のギャップ

家庭訪問する期待と不安



他者の意見を聞き、自分の意見を出し、 方向を模索し、まとめをする



よく頑張りました！！



13名のビジター
誕生

- 修了証が次回に延びた人もありましたが、残暑厳しい中、お弁当をもって頑張りました！
- いよいよ**試行訪問**が……。私たちHSを信頼してくれるお母さん巡り合えますように……。

いよいよ試行訪問開始

訪問のイメージ図



お子さんと遊びながら、お母さんの話を傾聴します！

- 3月までに5件の試行訪問を終えると、4月以降スキームの正式認定を受けて、ホームスタートさやまが発足します。
- それを目指してオーガナイザーとホームビジターとが頑張っています。
- 年配のビジターを望むお母さんたちが多いようです。

試行訪問の成果

利用した理由は？

- ♥狭山に転勤してきて知り合いがいない
- ♥子育ての不安や悩みを聴いてほしい
- ♥夫は忙しく殆ど独りの子育てで辛い
- ♥公園やひろばにひとりで子どもを連れていけない

どんな活動を？

- ♥悩みを聴いてもらった
- ♥お茶を飲みながらいろいろな話をした
- ♥一緒に公園やひろばに出かけた
- ♥地域の情報を提供してもらった
- ♥離乳食を一緒に作った

利用者の母親からの感想

利用してみたら...

- ♥話を聴いてもらって嬉しかった
- ♥不安が解消してラクになった
- ♥同世代のママ友には話せないことも聴いてもらえた
- ♥子育てひろばに行けた
- ♥狭山に頼れる「ばあば」ができた

ホームビジターさんの感想

オーガナイザーが、ビジターの訪問前後に訪問してくれたので心強かったです。

最初はこもりがちだったお母さんが、自分からプレイス等に出かけたり、相談できるようになったので訪問して良かったと思います。

これからも行政機関の方々の理解と支援を もっといただけると、利用者さんも安心して申込みができるし、私たちも安定した活動ができるのではないのでしょうか。

利用者さんのお話を聴いているだけでしたが、自分の境遇と似ていたので苦しい気持ちがよくわかりました。一見元気そうに見えるお母さんも、ホームスタートに申し込まれたということは、何かしら利用したい理由が心の内にあると理解しなければ...と思いました。

家庭の中で問題が起こる前に私たちが関わったことは、これからも利用者さんが、育児等に不安を抱いた時に、SOSを発する場や拠り所があるのだという安心感を感じてもらえたのでは...と思います。



HS事業2015の展望

2015年度
埼玉県委託事業「訪問型子育て支援」ボランティア普及促進事業(福祉部少子政策課)

☆ スタッフ養成の輪の広がり

* 市民大学

* パパママのお助け隊
養成講座

* **ホームビジター
養成講座2015**

(10・9~11・27 全8回)

☆ 実践の場の広がり

* さやま子育て支援

ネットワーク

(子育てひろば・サークル)

* 保育室・家庭保育・
ファミリーサポート事業

いらっしゃい型
から
コンニチワ家庭
訪問支援の展開

2015

**ホームスタート
さやまの立ち上げ**

家庭訪問の
ケースを増
やし恒常化

子育てを楽しくし、児童虐待を防止

子どもによりよき人生のスタートを

☆児童児童虐待・その疑いで、
児童相談所に通告される事例

67,000件(2012)

☆死亡する子ども120人

うち約半数は **親子心中**。

心中以外の虐待死の多く

は乳幼児、特に **0歳児が多い**。

☆加害の動機

3歳以上:しつけ

3歳未満:**子どもの存在が受け入れられない・泣き止まない**

☆**子育ての当事者**によるサポート(**素人性**)

(無償ボランティア)



☆母親の心情を共感的に受け止める(**傾聴**)

☆家事・子育て・外出・買い物につき合い、母親の負担感を減らす。しかし専門家のようにはしない。(協働)

☆寄り添いによって、母親が子育ての楽しさを体得する。→ **母親の再生**

愛されてこそ愛することが出来る

